

国語

第4学年

育成を目指す資質・能力

【主体性】

【協働性】

## 「醤油新聞を作って地域の人に伝えよう」

教材名「新聞を作ろう」

### 【単元の概要】

前年度、児童は総合的な学習の時間において、地域に古くからある醤油店について学習しています。醤油店に対する地域の方の声をきっかけに、自分たちが知っている醤油のおいしさや醤油作りへのこだわり等を、地域の方にもっと広く知ってもらうためにはどうすればよいか、考えることから学習がスタートします。グループで同じテーマのもと、伝えたいことの中心が伝わる文章の書き方や、読み手を引き付ける見出し等について、協働的な思考の場を通して学び合い、新聞を完成させていきます。

### ◆単元の目標

新聞の特徴と作り方を知り、記事にすることを決めて取材をし、伝えたいことが明確になる見出しや文章を書くことができる。

### ◆単元の計画（全15時間）

#### 【課題の設定（1時間）】

- ・昨年度の総合的な学習の時間の内容を想起する中で、地域の方の「醤油店の歴史や働く人の思い、商品開発のことなどはよく分からない。」という声を聞き、自分達の思いとのずれを感じる。広く地域の人に伝えたいという思いから、必要な情報を不特定多数の人に伝える手段として新聞を選択する。新聞作りに必要な学習内容を教科書から見出し、学習計画を立てる。

#### 【情報の収集（5時間）】

- ・複数の新聞の1面を比べたり、教材文を読んだりして、新聞の特徴や新聞の作り方の手順を学ぶ。
- ・指導者が作成した新聞のモデルを見て、自分たちが作成する新聞の大きさ、割り付け等を視覚的にイメージシゴールへの見通しをもつ。
- ・昨年度作成した「醤油事典」を基に、思考ツールを活用してこれまでに調べたことを整理し、新たに紹介したいことについて話し合い、テーマを絞る。
- ・取材の方法や内容について話し合い、グループで打ち合わせや準備をする。
- ・醤油店に取材に行き、グループのテーマに沿って必要な情報を集める。

#### 【整理・分析（1時間）】

- ・取材メモと「醤油事典」から、集めた情報を整理し付箋に書きだす。

#### 【まとめ・創造・表現（6時間）】

- ・付箋から伝えたい情報を選び、文章の構成を考え、下書きをする。
- ・読む人を引き付ける見出しの工夫について話し合い、見つけた工夫を「<大切！>見出しのコツ」としてまとめる。グループでそれぞれが書いた文章を読み合い、見出し作りの工夫を取り入れて、読み手を引き付ける見出しを考える。
- ・指導者が作成した新聞モデルを参考にして、グループごとに割り付けを考え、下書きを基に新聞を仕上げる。

#### 【振り返り（1時間）】

- ・友達と読み合い、感想を交流する。

#### 【実行（※総合的な学習の時間）】

- ・地域の商業施設・公共施設等に新聞を掲示する。

#### 【振り返り（1時間）】

- ・新聞作りを通して身に付いた力について振り返ったり、新聞を読んで地域から寄せられた声から感想をまとめたりする。

## その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
国語	1	たのしさをつたえよう 教材名「しらせたいな 見せたいな」
	2	家族のために発明品を考えて、はっぴょうしよう 教材名「あったらいいな、こんなもの」
	3	説明のしかたをくふうして「食べ物へんしんブック」を作ろう 教材名「すがたをかえる大豆」「食べ物のひみつを教えます」
	5	ポップで伝えよう「〇〇の生き方」 教材名「千年の釘にいどむ」
	6	小田東小学校をもっとすてきな学校にするための意見文を書こう 教材名「未来がよりよくあるために」
総合的な学習の時間	4	甲田の梨を広め隊！ わくわく広報プロジェクト ～「知ってほしい甲田の梨」～